

令和5年度  
神岡森林事務所  
部内概要

# 神岡・双六の国有林



北ノ俣岳（中段右側の寺地山から稜線中央部）

# 神岡森林事務所内図



▲金木戸国有林

国有林		担当区界	
河川		県境	

神岡森林事務所は飛騨市神岡町全域、飛騨市宮川町のソノボ谷流域（神岡担当区）と高山市上宝町の双六川流域、に及ぶ地域の国有林を管轄しています。国有林面積は17,279haと広く、名古屋から富山までを結ぶ国道41号線沿い（大津山国有林・標高290m）から、日本を代表する山岳地帯である北アルプスの名峰笠ヶ岳（金木戸国有林・標高2,897m）まで、標高差が2,600m以上もある多種多様な環境の国有林を管理しています。



## 〈地況〉

**地形** 神岡担当区では山之村の高原状地形や跡津川断層による川の屈曲と直線状地形など多様で複雑な特徴が見られます。

双六担当区は急峻な地形が多いですが、双六岳から北ノ俣岳にかけての稜線はなだらかなお花畑が見られます。

**地質** 神岡部内は、片麻岩を主とする基盤が分布する飛騨帯と呼ばれる地質構造です。また、スカルン型鉱床が広がっており、かつては鉱業によって栄えた地域でもありました。

**気候** 部内は他の飛騨地方の一带と同様に内陸性の気候のため、年間降水量は約2,000mmと少なく、一日の寒暖の差が大きくなっています。また、地形が複雑であるため、風は全般的に弱くなっています。

年平均気温は11.4度℃と低い地域で、年間降雪量は611cmと県下でも有数の豪雪地帯です。

神岡（年ごとの値）

年	降水量 (mm)	気温(°C)			雪(寒候年・cm)		
		平均			降雪 合計	日降雪 最大	最深 積雪
		日平均	日最高	日最低			
2022	1796.0	11.8	17.7	7.5	653.0	41.0	122.0
過去30 年	1937.5	11.4	17.4	6.8	611.0	43.0	99.0

## 〈林況〉

部内は国有林の標高差が2,600mにも及ぶため、多種多様な植生を観察することができます。

標高の低い地域ではブナ、ナラ、トチ等の広葉樹が大部分を占め、1,000~1,600mにおいては沢筋にトチノキ、サワグルミ、ブナ等の広葉樹、尾根筋にはコメツガ、ネズコ、ヒメコマツ等となり針葉樹の混交歩合も著しく増加します。

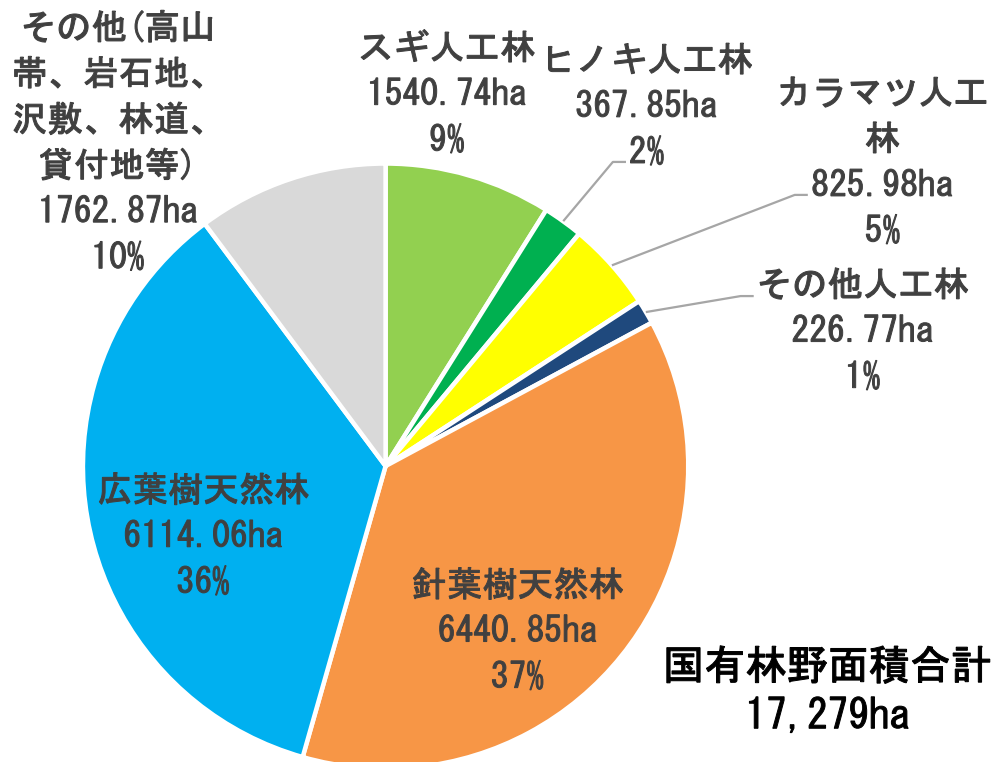
標高1,600m以上になるとアオモリトドマツ、シラベ、トウヒ等が見られ亜高山帯となり、広葉樹はカンバ類、ブナ類が一部見られる程度でほかは針葉樹林を形成しています。いずれも伸長成長が低下し2,000m以上では形質不良となっています。

2,400mに達すると高木がほとんどないハイマツ地帯となり、広葉樹の一部にはダケカンバやナナカマドなどが見受けられる程度となります。2,800m以上では樹木は生育できない高山帯となり、クロユリやコマクサなどのお花畑が見られる場所もあります。

人工林は、古くは明治39(1908)年から新しいものは平成13年(2001)年まで100年近くにわたリスギ、ヒノキ、カラマツ等が植栽され、国有林の16%にあたる2,735haを占めています。

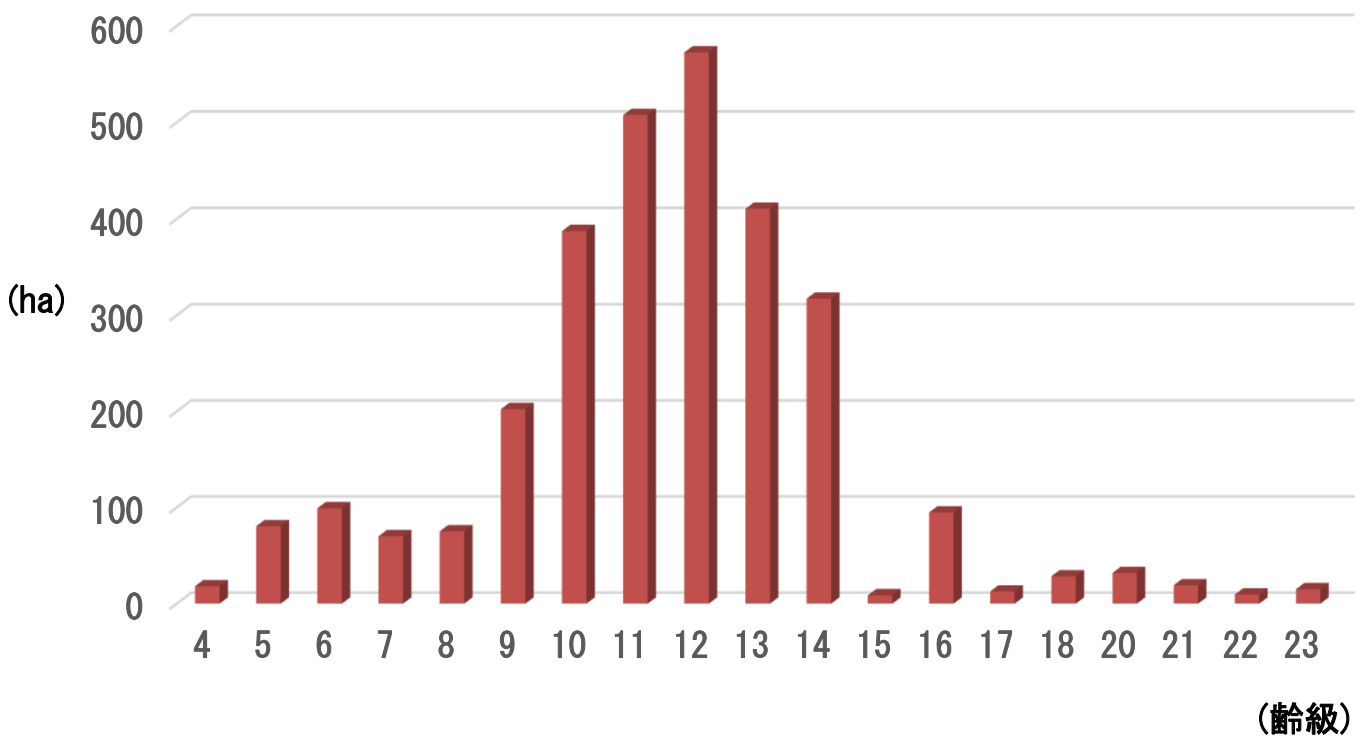
また、人工林内でスギ、ヒノキ、カラマツの3樹種で人工林の約90%を占め、齢級は60年生前後の人工林が多いため、将来的には主伐も実施することが見込まれます。





## 国有林野面積割合

### 人工林齢級別面積



※林齢級とは植栽してからの年数を5年ごとに区切りまとめたもの。1林齢級は1～5年生、2林齢級は6～10年生となります。

## 〈保安林〉

部内の国有林ほぼ全域が保安林に指定され、内訳は下表のとおりです。

保安林の種類	役割	面積 (ha)	割合
水源かん養保安林	部内の大半を占め、清流高原川をはじめとする地域の河川の洪水の防止や、地域の皆様の生活に欠かせない水資源の維持のために森林を管理しています。	16,932	98.5%
土砂流出防備保安林	急傾斜地や砂防指定地などを中心に指定されており、樹木および地表植生その他の地被物の直接間接の作用によって、山が崩れて生命や財産、生活インフラなどに影響の出ることのないように管理しています。	164	1.0%
干害防備保安林	森林の水源涵養機能により局所的な用水源を保護し、干害の防備に努めています。	15	0.1%
なだれ防止保安林	国道41号線沿いの2つの国有林が該当し、地域の大動脈である国道を雪崩から守る役割を果たしています。	76	0.4%
計		17,187	

## 〈保護林〉

双六川の源流部にあたり、笠ヶ岳や黒部五郎岳などを抱える金木戸国有林では、希少な動植物が生息する生態系を適切に管理するために、北アルプス金木戸川・高瀬川源流部森林生態系保護地域を設定しています。

その特徴としては、稜線付近だけではなく、標高1,300m付近から自然植生が維持されており、ブナ林からハイマツ林までの標高による林相の移り変わりを目にすることができます。稜線付近には国の特別天然記念物でもあるライチョウが生息しており、飛騨森林管理署ではその適切な管理を実施するためにライチョウ生息地調査を外部委託にて実施しています。



▲ヒトリシズカ



▲双六岳のライチョウ



## 〈レクリエーションの森〉

神岡森林事務所部内には1箇所、レクリエーションの森があります。特に、深洞自然観察教育林には「天生県立自然公園と三湿原回廊」のひとつとして、「岐阜の宝もの」に認定されている深洞湿原があります。

深洞湿原は一般的にイメージされる開放的な空間が広がる湿原とは異なり、30mを超えるトウヒの原生林に包まれています。足下にはミズバショウやリュウキンカ、モウセンゴケなど湿原を代表する植物が広がります。また、禁漁区に指定されていて、イワナをはじめとする魚類も多くみられます。

なお、深洞湿原へとつながるホオノキ林道は一般車両進入禁止となっておりますので、訪問される際はツアーへの参加をおすすめします。



▲ミズバショウとリュウキンカ

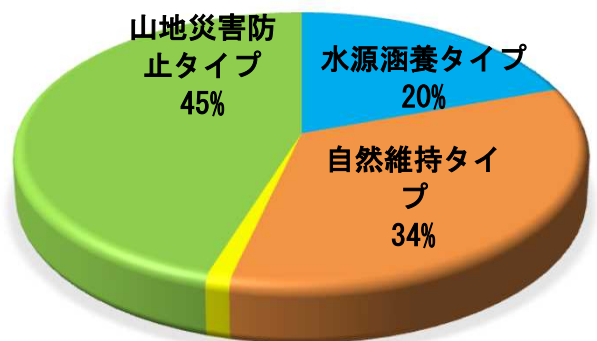
## 〈国有林の機能類型〉

林野庁は主な目的に応じて国有林を5種類の機能類型に分類しており、神岡森林事務所部内にはそのうち4種類の機能類型が存在しています。

保安林と国有林の機能類型の最大の違いは、保安林が国民の安心・安全な生活を守ることを念頭に置いているのに対して、機能類型は森林の持つ機能を最大限に発揮するためにどのように管理していけばよいのかを念頭に置いているという点です。

区分	管理経営の方針
災山地災害防止タイプ	山崩れなどの災害を防止する機能を重視する国有林です。
水源涵養タイプ	水資源を蓄え、良質な水を供給する機能を重視すると共に持続的計画的に木材を生産する国有林です。
自然維持タイプ	生態系の保全や野生生物の保護など自然環境を維持する機能を重視する国有林です。北アルプス森林生態系保護地域はこのタイプに該当します。
森林空間利用タイプ	森林レクリエーションなど森林とのふれあいの場としての機能を重視する国有林です。深洞自然観察教育林はこのタイプに該当します。

### 機能類型別面積割合



森林空間利用タイプ  
1%

## 〈国有林別面積〉

国有林名	林班数	林 地 面 積			保 安 林 面 積			
		計	人工林	天然林	水源かん養	土砂流出	干害防備	なだれ防止
大 津 山	2	101.20	0	101.20	62.89			44.22
水 無 洞	1	21.60	0	21.60	21.60			
片センノウ	2	117.04	8.48	108.56	120.32			
間 山 谷	1	61.04	0	61.04	61.40			
大 多 和	5	453.23	209.63	243.60	458.12			
水 洞 谷	2	119.78	119.78	0	120.92			
下ノ洞山	1	56.99	26.38	30.61	57.35			
中ノ谷	1	89.55	88.94	0.61	90.44			
ソンボ(旧神岡町)	10	618.13	431.78	186.35	632.58			
切 雲	7	585.80	458.83	126.97	532.60	57.81		
ブドウ谷	2	157.47	30.47	127.00	158.25			
ウレ山	5	490.51	365.37	125.14	493.36			
ヲシホ山	1	34.12	6.57	27.55	34.23			
金木戸(神岡)	4	383.18	106.44	276.74	386.07			
下 峠	1	24.31	0	24.31				31.25
前 平	1	88.96	86.72	2.24	92.00			
ソウレ	1	40.21	12.68	27.53	40.21			
寄合谷	1	14.98	14.98	0			15.07	
釜ヶサコ	1	9.13	2.23	6.90	9.13			
稗田洞	1	4.18	1.23	2.95	4.18			
ソンボ(旧宮川町)	12	859.96	376.45	483.51	865.57			
金木戸(双六・飛驒市)	32	3,580.07	181.51	3399.56	3,960.63			
金木戸(双六・高山市)	52	7,025.73	145.35	6880.38	8,247.17			
坂ノ谷	4	299.45	126.38	173.07	239.18	67.91		
ヲハギ谷	5	279.63	162.14	117.49	244.08	38.59		
計(23)	154	15,516.25	2961.34	12554.91	16,932.28	164.31	15.07	75.47
面積割合		100.0%	19.1%	80.9%	98.5%	1.0%	0.1%	0.4%
					99.5%			

注) ソンボ国有林2257林班は、旧神岡町と旧宮川村どちらにも該当し重複する。

飛驒市	93	7,911.44	2,527.47	5,383.97	8,201.85	57.81	15.07	75.47
高山市	61	7,604.81	433.87	7,170.94	8,730.43	106.50	0	0

注) 保安林面積には、林地外も含まれる。

## 〈計画的な森林施業〉

神岡森林事務所部内では、宮・庄川森林計画区第6次国有林野施業実施計画にて令和2年度から令和6年度までの間に面積988.54ha、材積129,463m<sup>3</sup>の間伐を実施することになっています。

当部内は寒冷な気候と多雪のため、主伐までのスパンが長い長伐期施業を実施している林小班も多いですが、60年生前後の人工林が多いため、将来的には主伐も実施することが見込まれます。切雲・ウレ山国有林は人工林が多く、スギやカラマツを生産しています。また、坂ノ谷・ヲハギ谷国有林は30年生前後の比較的若いヒノキの林で、将来的な木材生産の場とするため、間伐等を実施しています。

木材生産は国有林の多面的な機能の中でも重要な一角であり、神岡森林事務所では今後も計画的な施業を実行してまいります。



▲搬出間伐 (ウレ山国有林)



▲保育間伐 (ヲハギ谷国有林)



▲分収育林 (ウレ山国有林)

## 〈令和5年度の事業予定〉

測定事業	境界検測予備調査・境界検測	境界巡視ほか
林道工事	既設路線維持修繕作業を実施	
鳥獣害対策	センサーカメラによる生息調査(前平、金木戸、ヲハギ谷国有林) ※岐阜県による調査協力含む等	

注) 事業については、令和5年3月段階の予定であり、変更もあります。



## 〈フォトギャラリー〉



▲天然更新（ウレ山国有林）



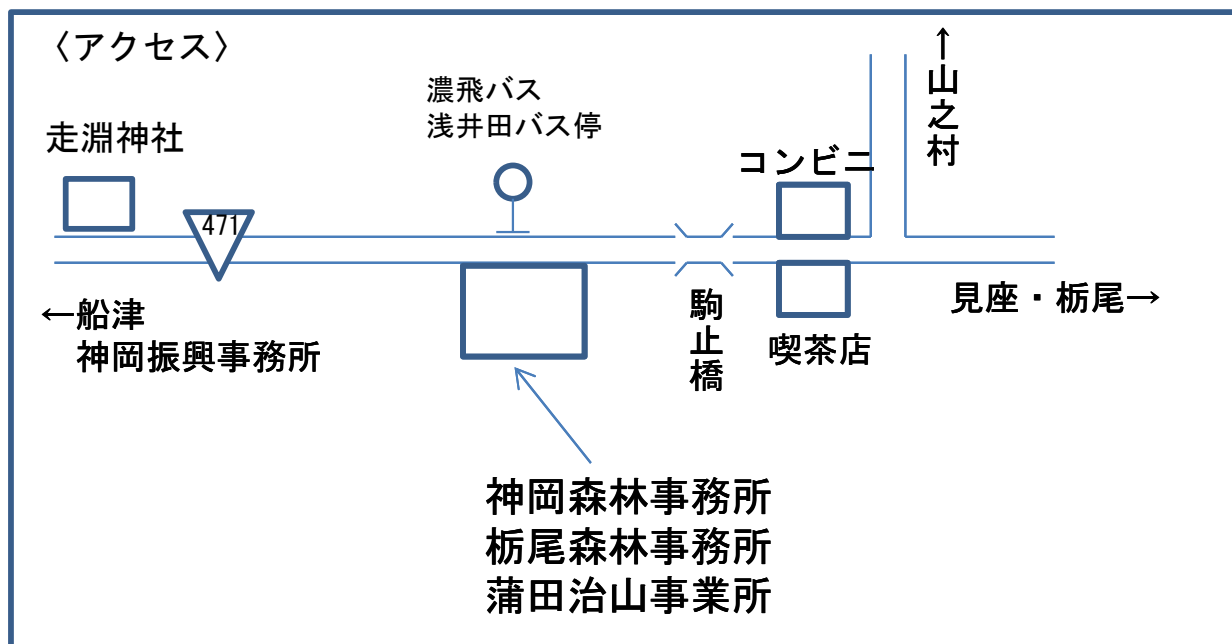
▲境界確認（釜ヶサコ国有林）



▲ニホンジカ動向把握  
(センサーカメラ撮影)



▲森林教室（深洞湿原）



林野庁 中部森林管理局  
 飛騨森林管理署 神岡森林事務所  
 栃尾森林事務所  
 本郷森林事務所

〒506-1133 岐阜県飛騨市神岡町数河827-2  
 (TEL) 0578-82-0046